



フィルハーモニッシャー・コール

第3回演奏会

バッハ 宗教音楽の集大成

ミサ曲 短調

Messe in h-Moll BWV232

2019年9月22日(日)

14:00 開演 13:30 開場

(終演予定16:30)

ほく 北とぴあ さくらホール

(京浜東北線・地下鉄南北線「王子」駅より徒歩2分)

S席3,500円 A席2,500円 B席2,000円



〔ソプラノ〕
柏原 奈穂



〔アルト〕
池田 香織



〔テノール〕
鈴木 准



〔バス〕
大沼 徹



〔指揮〕
佐藤 宏

管弦楽：東京バッハ・カンタータ・アンサンブル

合唱：フィルハーモニッシャー・コール

身体で聴こう音楽会
ご案内

聴覚に障がいをお持ちの方にも演奏をお楽しみいただくためにボディソニック(体感音響システム)を使った座席を本演奏会でご用意しております。ご希望の方は下記へお問い合わせください。
パイオニア株式会社 法務・リスク管理部 CSR推進室 FAX:03-6634-8736 ☎03-6634-9262



■ お問い合わせ
フィルハーモニッシャー・コール事務局
☎ 03-3709-5952
E-MAIL: contact@ph-chor.com



■ チケット
取り扱い
チケットぴあ
☎ 0570-02-9999
Pコード: 146-812

■ 未就学児の入場はお断りして
おります。どうぞご理解の上、
ご協力をお願いいたします。



フィルハーモニッシャー・コール

第3回演奏会

J.S.バッハ ミサ曲 短調

バッハ宗教曲の最高峰とも称されるこの曲は、特に歌手にも人気が高く、聴きごたえのある大曲の一つです。管弦楽とともに織りなす鮮やかで変化に富んだ曲調はもちろんのこと、四声～六声さらには二群の合唱、独唱や二重唱など、多様な形式によって美しい旋律が奏でられます。バッハの作曲技法すべてが結集された、まさに宗教音楽の集大成といえるでしょう。一方で教会の典礼用途としては演奏時間が群を抜いて長く、何を目的としてこの曲が作られたのか、その真相は謎に包まれています。ぜひ私達と一緒に北とぴあ さくらホールで、この謎解きをいたしましょう。

指揮 **佐藤 宏** Hiroshi Sato

国立音楽大学作曲科卒業。在学中より東京室内歌劇場において指揮活動を始める。その後、藤原歌劇団、新国立劇場にて様々なオペラ公演に携わり、近年は東京二期会をはじめ数多くの公演で合唱指揮を務めるなど、日本のオペラ界を担う存在として広く活躍する。一方、プロ、アマチュア共に多くのオペラ団体や合唱団の公演を指揮し、オペラはもとより宗教曲からポピュラーまで、幅広いジャンルにおける自由かつ新鮮なアプローチで好評を博している。また、作曲にも力を注ぎ、主な作品には「レクイエム」「少年合唱のためのミサ曲」「あめのいとをつむいで」「月」、自ら作詩も手掛けた「ありがとう」等がある。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師、藤原歌劇団団員、国立音楽大学大学院講師。

ソプラノ **柏原 奈穂** Naho Kashiwabara

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2006年文化庁海外派遣在外研修員としてイタリアへ留学。ペルー国立音楽院を最高点で修了。これまでに「フィガロの結婚」(スザンナ)、「後宮よりの逃走」(コンスタンツェ)など多数出演。第11回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2005」で優秀者として、ドイツでの本選に出場。日本声楽家協会研究所および教育センター講師。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。

メゾソプラノ **池田 香織** Kaori Ikeda

新国立劇場をはじめ数々の舞台に出演。特にワーグナー作品については定評があり、東京二期会『トリスタンとイゾルデ』イゾルデ役では注目を集めた。オーケストラとの共演も多く、「ミサ・ソレムニス」、マーラー交響曲第2番「復活」、交響曲第3番、ヴェルディ「レクイエム」など、いずれも高い評価を得ている。近年では2017年「びわ湖リング」>「ラインの黄金」エルダに続き、2018年「ワルキューレ」2019年「ジークフリート」ブリュンヒルデで出演し、2020年「神々の黄昏」にも出演が決定している。二期会会員。

テノール **鈴木 准** Jun Suzuki

『魔笛』タミーノで東京二期会、新国立劇場、日生劇場、兵庫県立芸術文化センター、あいちトリエンナーレ、神奈川県民ホール等のプロダクションに出演。他に『タンホイザー』ヴァルター、『死の都』パウル、『金閣寺』柏木、『カーリユー・リヴァー』狂女など。J.S.バッハ『マタイ受難曲』『ヨハネ受難曲』福音史家、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』『四季』、モーツァルト『レクイエム』、ブリテン『セレナード』等で多くのオーケストラと共演。松本隆訳詞「白鳥の歌」CDを日本コロムビアよりリリース。二期会会員。

バリトン **大沼 徹** Toru Onuma

東海大学大学院修了。ベルリン・フンボルト大学に留学。二期会ニューウェーブオペラ「ウリッセの帰還」ウリッセ役にデビュー。第14回日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第1位。第75回日本音楽コンクール(歌曲部門)入選。二期会オペラ研修所第51期マスタークラス修了時に最優秀賞及び川崎静子賞受賞。第21回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。「オテロ」「魔笛」「サロメ」など多くのオペラに出演、コンサートソリストとしても活躍。第62回NHKニューイヤーオペラコンサート出演。二期会会員。東海大学教養学部芸術学科非常勤講師。

管弦楽 **東京バッハ・カンタータ・アンサンブル**
Tokio Bach Kantaten Ensemble

「東京藝術大学バッハカンタータクラブ」(小林道夫氏指導)の出身者を中心とする、器楽アンサンブル。内外のバッハ演奏家との数多くの共演を行う。宗教合唱曲に対する様式感とすぐれた解釈をもち、モダン楽器とバロック楽器(古楽器)のどちらの編成にも対応する。

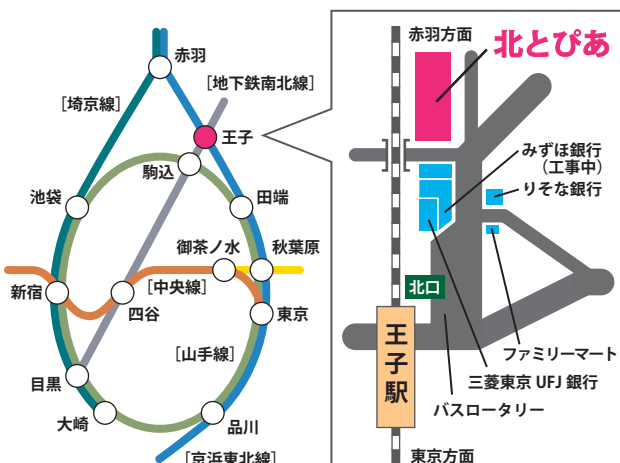
合唱 **フィルハーモニッシャー・コール**
Philharmonischer Chor

フィルハーモニッシャー・コール(略称PHC)は「音楽を愛する人の合唱団」を意味する。1995年から20年間続いたパイオニア合唱団の精神を引き継ぎ、2015年に自主運営の混声合唱団として活動を開始。オーケストラと共演する演奏会を目指し、土曜日の午後と金曜日の夜を交互に組み合わせ、週1回70人程度が都内で集まって練習している。土曜日の練習ではプロのソリストによる発声指導を実施。これまでに、ラuter「マニフィカト」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ブッチーニ「4声のミサ曲」等、幅広い作曲家の作品に取り組んでいる。

会場のご案内

京浜東北線「王子」駅北口より徒歩2分
東京メトロ南北線「王子」駅
5番出口に直結
都電荒川線「王子駅前」駅より徒歩5分

車でご来館の場合には地下駐車場がご利用いただけますが、スペースに限りがございますので、できるだけ公共交通機関を使ってお越しくださいますようお願いいたします。



チケット
取り扱い

チケット
ぴあ pia.jp/t
0570-02-9999

Pコード: 146-812